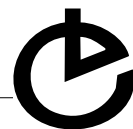


# 議会だより とくのはしま



第 193 号

平成 30 年 12 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203  
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



職場見学に来た亀徳保育園児（議事堂にて）

## 第 3 回定例会

9 月 11 日～ 21 日

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| ☆ 審議された案件と議決結果        | 10    |
| ☆ 一般質問（10 氏登壇）        | 11～17 |
| ☆ 議会研修レポート・行政視察報告     | 18～19 |
| ☆ 議会の動き・議会活動スナップ・編集後記 | 20    |

9 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<b>(議案)</b>	
・徳之島町情報公開条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町税条例等の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・土地の売買契約	可 決
・平成 30 年度一般会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 30 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度一般会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 29 年度水道事業会計歳入歳出決算の認定	認 定
<b>(報告)</b>	
・平成 29 年度健全化判断比率	
・平成 29 年度資金不足比率	
<b>(陳情)</b>	
・臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	継 続 審 査
・「小規模企業の振興に関する条例」制度及び商工会に対する平成 31 年度補助金要望等について	継 続 審 査

第 2 回臨時会（7 月 10 日）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<b>(議案)</b>	
・平成 30 年度一般会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決

第 3 回臨時会（10 月 11 日）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<b>(議案)</b>	
・徳之島町営農支援ハウスの設置に関する条例を廃止する条例	原 案 可 決
・工事請負契約の締結	可 決
・工事請負契約の締結	可 決
・工事請負契約の締結	可 決

第 4 回臨時会（10 月 31 日）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<b>(議案)</b>	
・専決処分について承認を求める件	原 案 可 決
・工事請負契約（平成 29 年度農業創出緊急支援事業営農研修施設建設工事）の締結	可 決

# いっばん質問

9月定例会には、10人の議員が登場し、新庁舎建設、防災、教育、子育て支援、観光、行政、農業政策など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 新庁舎建設は

徳田 進 議員



**問** 今後のタイムスケジュールを具体的にどう考えているか、また北部地区の防災拠点となる花徳支所も一緒に建替はできないか。

プロポーザルを実施して、新庁舎の設計に最適な設計共同企業体の選定を行う。2019年12月から2020年3月末まで基本設計を行う。2020年4月から6月末まで、基本設計を基に住民説明会を実施する。2020年7月から11月末まで、住民説明会の内容を踏まえて実施設計を行う。2020年12月から2021年12月末まで、庁

舎建設を行う。2022年1月から新庁舎への移転作業を行い随時業務開始。花徳支所も給食センターや東天城中学校の建て替え後に、取り組んでいくべきと考える。  
※プロポーザルとは企画・提案のことでプロポーザル方式は、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

**答** 岡元総務課長 新庁舎建設プロジェクト委員会が12月末までに、基本構想の策定を行う。次に、副町長・議会の各常任委員長・消防長・各種団体の代表者・有識者等で構成される新庁舎建設検討委員会において、2019年1月から7月末まで基本構想の資料等を基に基本計画の策定を行う。2019年8月から11月末まで、基本計画を基に基本設計※



南三陸町新庁舎

## 世界自然遺産登録に向けた取り組み

**問** 本年度登録見送りになり問題点解消のため何を推進しているか、また北部地区の遺産以外の観光ルートを含めた文化財等の整備は怎么样了っているか。

## 遺産登録の推進施策

**答** 向井企画課長 徳之島では推進に向けての関係団体・住民との連携強化、ノネコ対策、ク

ロウサギの交通事故対策、野生生物の違法採取に関するの管理体制の強化を重点施策として、国・県・三町・地域団体と協力して取り組んでいく。

## トレイルとして整備

**答** 幸田地域営業課長 世界自然遺産以外の観光ルートは、「世界自然遺産奄美※トレイル」として整備を進めている。島ならではの海岸線の景観を楽

しむコースを設定していることから、保護地域の負荷軽減とともに観光客の分散化にもつながる。

※トレイルとは森林や里山、海岸集落などを歩くための道のこと

## 教職員のへき地手当

**問** 昔のように等級分けにし、各集落に根差した職員を配置できるように県教委等に働きかけはできないか。

## 等級分け配置は難しい

**答** 高城学校教育課長 現在、町内すべての学校の等級は上限の5級となっている。また、新たな等級分けは、教職員にとって待遇悪化や条件不利なものともみられる可能性もあることから、等級分けによる職員の配置は難しい。

# 障がい者雇用支援を



木原 良治 議員

**問** 個性ある人材の確保と多様な働き方における採用のあり方として、本町の障がい者雇用の実状と今後の雇用推進の考え方を問う。

## 障がい者雇用を促進

**答** 岡元総務課長 本町の現在の法定雇用率は2・72%である。障がい者が地域において自立した生活を営み、より一層社会参加ができるよう均等な機会を確保するため今後、県の採用試験内容なども参考にこれまで以上に障がい者雇用を促進していく。

## 不納欠損処理額は

**問** 平成29年度決算における主な不納欠損の状況と課題は何か問う。

## 今後の課題

**答** 安田収納対策課長 不納欠損の状況は、町税、国保税合わせて657件で15,835千円。今後は行方不明者の追跡や所有者の死亡により所有者不明となった固定資産や軽自動車等の相続人調査などが課題になると考えられる。

## 学力向上対策

**問** 全国学力テストの結果、本町の児童生徒の学力の実状と教育環境整備の為に全教室へのクーラー設置が必要と考えるが、計画等を問う。

## 学力低迷、応用力に課題

**答** 高城学校教育課長 本年度の全国学力・学習上調査で本町評価は、全教科全国及び県平均正答率を下回り、特に、応用力問題が課題となっている。普通教室へのクーラー設置は、現在計画がないが、国・県等の施策内容によっては、今後検討する。



小学校の授業の様子

# わが町の防災対策は



松田 太志 議員

**問** 本年は相次ぐ災害により日本各地で多くの被害があった。我が町の防災・減災対策と今後の課題は。

## 自主防災組織の充実が課題

**答** 岡元総務課長 現在、地域防災計画を基に防災・減災対策を進めているところである。今年度は、自衛隊との合同防災訓練を実施すると共に、各地区の防災拠点施設の整備を行う。課題は、防災行政無線のデジタル化とFM局の設置及び防災ラジオの全戸配布である。

また、過去の災害が示しているように、地域・各集落をよく知っている自主防

災組織の活動充実による「自助」「共助」意識の向上である。

その他の質問

- 畜産振興について
- 航空航路対策について



南三陸町の危機管理課

# 蛍光灯等の回収方法は



宮之原 順子 議員

**問** 蛍光灯・ボタン電池等の回収ボックスが支所と本庁の2ヶ所に設置されている。町で2ヶ所は非常に少なく、高齢者の方などは持って行くのに不便だ。各自治会で回収できる所を設置すべきではないか。

**準備が整い次第  
順次設置**

**答** 政田住民生活課長

蛍光灯等の回収については現在、役場本庁・花徳支所で回収箱を設置して回収を行っているが、今後回収箱の準備が整い次第、各集落の公民館等に設置していく。



町に設置された回収ボックス

## ワクチン接種 で肺炎予防

**問** 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種制度は5年間を経過措置期間としているが、制度を利用していない人が多い。高齢者健康寿命を延ばし、医療費削減のためにも「接種できなかった町民」に救済措置を設けるべきでは。

**今後も継続を**

**答** 芝健康増進課長

接種できなかった町民への救済措置は、これまでも任意接種の扱いで助成を行っているので、今後も継続していく方針。連絡していたらければ、申請により次の年度も助成を行う。

# 地域おこし協力隊 の活動内容は



竹山 成浩 議員

**問** 本町には3名の地域おこし協力隊の方がいる。現在、どのような活動をしているか、活動内容を広報誌やホームページ等で町民へ周知する必要はないか。また、今後増員の予定はないか。

**広報誌等で紹介**

**答** 向井企画課長

本町では、「※ICT伝道師」「北部のシマづくり推進隊」「手々地区ふるさと留学センター館長」としてそれぞれ活動されていて、詳しくは、広報紙や町公式ホームページ及びフェイスブック等で紹介している。今後は報告会なども検討したい。

※ICTとは、情報処理・通信に関連する技術のこと  
※フェイスブックとは、実名で行うソーシャルネットワークサービスのこと  
人と人の現実の関係をインターネットを使って補助するコミュニケーションサービス

## 離島留学で 地域おこし

**問** 全国の離島で「ふるさと留学」が広がっているが、本町での募集状況は。

**留学生募集を  
活性化**

**答** 高城学校教育課長

平成8年度より手々小中学校、山小中学校、山小中学校で累計延べ92名の留学生を受け入れており、本年度も手々小1名、山中1名の留学生がいる。また、各小中学校やふるさと留学センターなどがインターネットを活用し募集を行っている。

## 下久志海浜公園 園の有効活用

**問** 下久志海浜公園は、身障者や高齢者の方々への配慮もされているが、危険な箇所も多い。今後は定期的な管理作業を行い、遊具施設などを設置することで、更に利用者増が見込めると思うが。

**遊具施設は  
徳和瀬を**

**答** 幸田地域営業課長

下久志海浜公園のように海岸沿いの施設は、塩害で施設や設備が傷みやすいことが課題である。維持費も負担となることから、徳和瀬の自由広場にある遊具を利用して頂きたい。



身障者にもやさしいトイレ

# 青少年を救え

是枝 孝太郎 議員



## グラウンド整備と誘致計画

健康の森総合グラウンドの整備とスポーツ団体の大会の誘致の計画は、

## 本年度より改修

## 工事実施予定

亀津建設課長  
平成 29 年度「徳之島町公園施設長寿命化計画策定業務」を完了し、平成 30 年度より平成 33 年度にかけて長寿命化計画に基づいた改修工事の実施を予定。初年度は、野球場より開始。



改修工事が待たれる野球場

## 就学相談窓口設置を検討

高城学校教育課長  
不登校にならない為、地域社会とのつながりを強めた学校づくりが必要で、様々な体験活動や学校外の多様な人材の協力により、きめ細やかな対応をする。また、再度の就学などが相談できるような窓口の設置も検討していく。

## 主催者側に要望を

深川社会教育課長

誘致は、大島地区大会、地区スポーツ少年団競技別交歓大会を開催している。県大会等を行うには、

奄体協、各市町村が連携し、大会主催者に開催の要望をする必要がある。

## 奄振法の改正を

奄振法において奄美群島全体の役割を一元的に組織することで将来に渡って独創、独自性が生かされると思う。今後 12 市町村、県、国と議論が必要だと感じるが。

## 予算と人材の確保が重要

高岡町長

来年度に改正となる奄振法の延長は間違いないものと思う。今現在の奄美群島成長戦略推進交付金事業については、約 24 億から 28 億で推移しており殆どが、航空航路への助成となっている。今

# 子供医療費の助成は

後は奄美群島全体が成長していくための予算確保が重要であり、交付金の増額を

強く要望すべき。そのためには組織づくりや戦略が重要であると考え。



勇元 勝雄 議員

町長がいつも答弁するように、教育に金をかけるのも大事。子育て支援にも、他の市町村並みに子供達の医療費の助成をするべきだと思う。町長の政策を少しだけ変えて、子供の医療費の助成はできないか。

## 保険料の現状維持も重要

高岡町長

いわゆる経済的弱者については、しっかりと助成しなければならぬと考えている。仮に全世帯無料化となると、徳之島町の国

民健康保険特別会計を参考にするため、医療制度を維持するためには、保険料を上げなければならぬ。保険料の現状維持を目指している本町としては無料化は考えていない。制度の根幹にかかわるものは、国・県の施策と足並みをそろえることが結果的に被保険者のためと考えている。いわゆる過疎化、高齢化についての費用対効果を世界的に見ると、教育環境や保育園の待機児童の問題、働きやすい環境や雇用問題等の解決こそが効果があると考え

## 現地建替は大丈夫か

現在の役場庁舎の海抜は 4 級、予想されている地震による津波が 7.3 級である。津波が起きたら高台に避難するのが基本だと思う。なぜ防災拠点を海抜 4 級の現在地に庁舎を建設しなければならぬのか。

## 住民の安全が第一義

岡元総務課長

高台に避難するのは、当然である。多数の方々が居住する亀津市街地には、津波による緊急避難場所が少ない。高齢者・障がい者・傷病者や逃げ遅れそうな住民を一人でも多く庁舎に避難誘導・救助して住民の命を救うのが行政の責務である。庁舎が高台にあつては、電柱の倒壊や道路の寸断等で迅速な広報活動や初動態勢が取れない。また、高台には、県有地や町有地等十分な土地がない。奄美市庁舎も海抜 2.7 級に建設中

である。今後、設計プロポーザルの実施で様々な設計共同企業体から地震や津波に対処できる新庁舎の提案がなされると考える。



海拔 4 m の役場駐車場

### 町民の健康が大事

**問** 総合グラウンドのトレーニング室は、町民の健康維持の為に専門員を配置してトレーニングが出来るような施設を計画しているか伺う。

### インストラクターの配置を予定

**答** 深川社会教育課長 導入予定のトレーニング器具は、高齢者及び女性・初心者の方でも、負荷等の変更などが操作しやすい電動式を予定し、専門員（インストラクター）の配置も計画している。

#### その他の質問

- 肉用牛を町内で肥育
- 亀徳、井之川線の改良について
- 北部振興について
- 職員採用について
- 町民と語る会について
- 職員の集落行事への参加について
- ストックマネージメントについて



## 総合案内所の開設



植木 厚吉 議員

**問** 住民が来庁の際、利用しやすくするため、目的別に案内ができる

ような総合案内所の開設ができないか。又、各課の窓口、プライベートにも配慮したパーティション（間仕切り板）の設置ができないか。



仕切られて分かりやすい窓口（南三陸町）

### 行政改革本部で協議

**答** 岡元総務課長 総合案内所の設置については、人員配置等行政改革本部で協議したい。また、新庁舎には設置の方向である。パーティションについては、設置が可能と考

### カミキリムシ対策

**問** カミキリムシによるタンカン樹木の被害が大変深刻である。どのような対策をしているか。生産農家は、人力での捕獲が最も効果的のようだが、現在の買取価格（30円）では対応が難しく、以前の価格（50円）へ戻す事は出来な

### 薬剤効果を期待

**答** 東農林水産課長 ※バイオリサスリムの普及助成を行っている中、薬剤駆除と捕殺駆除の両面で効果が考えられることから、バイオリサの効果

も十分に認識してもらいたい。買取価格の見直しについても、引き続き三町で協議していく。

### 東天城祭りの継続

**問** 9月に開催された東天城祭りは大変好評だった。北部振興の一環として、来年度以降も継続できないか。

### 地域主導による検討を

**答** 瀬川支所長 今後は、継続する為の財源の確保、北部集落での持ち回りのあり方、開催地域での協力体制などの課題をクリアする為に早い段階で「準備委員会」を立ち上げ、地域主導で検討する必要があるのではないかと

※バイオリサスリムとは、自然界のカビを使ってカミキリムシを殺虫する人に優しい微生物殺虫剤のこと

# 経済好循環で「地方分散型」へ

幸 千恵子 議員



## 結びの心と人材育成が鍵を握る

高岡町長

**問** ※A-1による未来シミュレーション結果「都市集中型シナリオ」と「地方分散型シナリオ」に分類される。後者は、「地方へ人口分散が起こり出生率が持ち直し格差が縮小、健康寿命や幸福感も増大する」という。実現には地域内経済好循環が重要。経済政策で心がけていることは。

A-1（エーアイ）とは「Artificial Intelligence」の略で、人工知能のこと

**答** いわゆる外貨（島外からの資金）というのは、国・県等からの地方交付税や補助金等も含まれると考へる。この得た資金をいかに島内に残すかが重要かと考へている。だからこそ、地産地消・他消に力を入れているところで、それには、モノづくりでの新規産業の構築、福祉におけるサービス、ICT産業等の起業化など多岐にわたる。いわゆる箱物は資金があればできる。

しかしその箱物を運営するのは人、だからこそ人材育成が必要であり子ども達への教育環境が必要である。将来への好循環型経済は人が造る。時間がかかろうとも重要政策として進め

る。地産地消は結局人の心にゆだねることもあり、結いの精神や人を育てようとする地域社会こそ構築すべき地域と考へる。是非、島で出来たものを島の店で消費しようではありませんか。

## LGBTの人権が守られる社会に

**問** ※LGBTに理解を深め、地域社会に溶け込めるよう環境づくりが必要。「人権行政計画」に性的少数者の人権課題を位置づけること、窓口の申請書から「男女」欄をなくすこと、「どなたでもどうぞトイレ」設置を提案するかどうか。

LGBTとは、性的少数者を限定的に指す言葉。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった総称。

## 申請書等の見直しを

政田住民生活課長

**答** 現在の申請書等には「男女」の欄が記されているが、法的に問題がない場合には、新たに申請書等を作成する際に「男・女」の欄は設けないようにしたい。

また、トイレについては、公共の施設等、新築や改築する際に、どなたでも利用できるトイレの設置も検討していきたい。

## 検討委員会は公開に

**問** 新庁舎建設では、現在地にこだわるのではなく防災・減災の観点から、町民の多くの声を採んで、みんなで議論した上で結論を出すべき。防災の専門家の意見を聞く機会を設けられないか。検討委員会は誰でも聞けるように公開してほしい。

新庁舎建設については、現在地にこだわるのではなく防災・減災の観点から、町民の多くの声を採んで、みんなで議論した上で結論を出すべき。防災の専門家の意見を聞く機会を設けられないか。検討委員会は誰でも聞けるように公開してほしい。

## 検討委員会に委ねる

岡元総務課長

**答** 新庁舎建設については、基本構想や町民アンケート等を参考資料として、新庁舎建設検討委員会に提出して協議をしていた。

公開については、多くの市町村の例を参考にしながら検討委員会に委ねる。また、検討委員会には、有識者も参加する。

- その他の質問
- 学校施設のエアコン設置について
  - 危険なブロック塀について
  - 雇用について
  - 窓口対応について
  - ゴミ行政について



完成間近の女川町役場



# 定例会の様子をインターネットでご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。  
(※インターネット回線の状況により繋がりにくい場合があります。)



避難道が必要とされる東区公民館

## 避難道を整備せよ

広田 勉 議員



**問**

東区は車で旧県道に上がる避難道が必要。東区公民館前から元の徳之島ホテルへ計画できないか。北区は亀津小学校の

**市街地連絡線を  
検討中**

**答** 亀澤建設課長  
避難道路を兼ねて、

ブル横から婦貴田住宅への坂道に、手すりを付けると高齢者も歩いて避難ができると思うが。

東区新旧市街地連絡線（町道新里3号線）の基本計画を検討中。また、手すりについては、土地所有者の同意が得られれば前向きに検討したい。

**管理職試験導入の検討を**

**問**

大久保利通は、広く人材を天下に募り、適材適所に配置し、明治の基礎を作った。町幹部の職員的能力差を無くす為に管理職試験の導入が必要では。

**人事評価制度を  
導入**

**答**

岡元総務課長  
本町は現在、地方公務員法による人事評価制度を導入している。今後、完全実施されると能力評価と業績評価によって、それぞれ昇任・昇格・昇給 降任・降格・勤勉手当の支給に反映することとなっているので、現段階では、管理職試験の導入は、考えていない。

**校舎建て替え  
を最優先に**

**問**

東天城中学校は築60年を超え、コンクリート片落下など危険性も指摘される。役場の新庁舎建設後になるような答弁だが、安全面からも校舎を最優先にすべきではないか。

**再編内容から  
規模決定**

**答**

高城学校教育課長  
教育委員会では、町学校再編検討委員会へ再編案を示しているが、その協議が難航している。学校の再編内容が決まらないと校舎や教室規模等も決定できないことから、再度早急に検討委員会を開催したい。

**その他の質問**

- 農業水利施設について
- 北部振興について

## 次回の定例会は 12 月です

皆さんで議会を傍聴してみませんか。  
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
☎ 82-1111 (内線 331 番)

# 議員研修レポート

総務文教厚生委員 住田 克幸  
 「地方創生のイメージ戦略と地元資源を活用した地域振興策」

講師 法政大学名誉教授 岡崎 昌之 氏

「地方創生のイメージ戦略」地元資源を活用した地域振興策」との演題で、岡崎昌之法政大学名誉教授の講演があった。

岡崎先生は、長年、日本各地のまちづくり計画策定に参画されており、各地の地域振興問題に精通されており、地域が内包する課題、地域の価値と地域振興策について、各地の事例を示しながら提言を示した。

大分県の一村一品運動の様に地域資源の価値を見直し一点主義による新しい地域ブランドの創出、又、将来地域を担う人材の育成の重要性、集落・地域社会を起点とした独自の地域振興策の必要性を強調していた。

さて、徳之島は、外海

離島であることから、自然条件、社会経済条件が厳しく過疎・高齢化が進むなど、多くの問題をかかえており、将来の町づくりをどう進めていくのか考える必要があります。

現在、徳之島町においても多くの地域振興事業や徳之島創生事業が進められている。

特に世界自然遺産登録に向けた取り組みは、奄美・徳之島の豊かな自然環境や多様な個性的な伝統文化など、世界に認められた、他の地域にはない魅力と価値を有する、地域振興の目玉である。

世界自然遺産登録は、地域観光振興だけではなく身近にある自然の保全と利用で、新たな徳之島創生の基盤となる事業であり、「奄

美・徳之島にしかない自然や文化」を全世界に発信し、体感してもらい、又、後世に伝える為にも、世界自然遺産登録を確実に実現するよう強力で推進していきたい。

最後に、岡崎先生の講演を拝聴して痛感したこと、故郷の特性をよく知り、私達の故郷は、私達で大切に守り育てる心構えを強く持つて地域振興を考えたい。事が重要だと感じました。

町民一人一人が考え、町民が一体となって、明るい徳之島町を次世代に伝えていく、そんな「徳之島創生イメージ戦略」を思い描きたい。

今回の議員研修は「菌」を発酵させた食品が鹿児島県は日本一であるとのテーマで、実家が造り酒屋で、お酒をはじめ味噌も醤油も自家製で、生まれた時から発酵食品に囲まれた環境で育ち、今や発酵食品やその食文化における第一人者として、月光仮面ならぬ「発酵仮面」の異名を持つ小泉武夫博士による講演でした。

蒸した大豆に枯草菌を生やして納豆が出来ることを発酵と言ひ、煮豆を放つといて枯草菌が生え、アンモニア臭やネットが生じた時は腐敗と言う。食品や微生物の種類、生成物の違いによるのでなく、人間生活に有用な場合を発酵、有害な場合を腐敗と呼んでいる。匂いの強い「くさや」や「ふなずし」なども、微生物作用が認められるのであれば、それが好きな人には「発酵食品」で、嫌いな人にとっては「腐敗食品」となる。

## 「日本一の発酵王国鹿児島県」

経済建設委員 広田 勉  
 講師 農学博士 小泉 武夫

今回の議員研修は「菌」

を発酵させた食品が鹿児島

県は日本一であるとのテーマ

で、実家が造り酒屋で、

お酒をはじめ味噌も醤油も

自家製で、生まれた時から

発酵食品に囲まれた環境で

育ち、今や発酵食品やその

食文化における第一人者として、

月光仮面ならぬ「発酵仮面」の異名を持つ小泉

武夫博士による講演でした。

蒸した大豆に枯草菌を生

やして納豆が出来ることを

発酵と言ひ、煮豆を放つと

いて枯草菌が生え、アンモ

ニア臭やネットが生じた時は

腐敗と言う。食品や微生物

の種類、生成物の違いによる

のでなく、人間生活に有用

な場合を発酵、有害な場合

を腐敗と呼んでいる。匂

いの強い「くさや」や「ふ

なずし」なども、微生物作

用が認められるのであれば、

それが好きな人には「発酵

食品」で、嫌いな人にとつ

ては「腐敗食品」となる。

微生物は地球上のあらゆる場所に存在する。人間の役に立つ発酵菌の宝庫は、日本を含めた東アジアと東南アジア。暖かくて、湿度の多い気候、カビや菌がものすごく多い気候だからだ。日本では平安時代末期から室町時代にかけて、穀物に生えるカビ「麹」のタネを作つて（微生物の純粋培養）売る「種麹屋」があり、造り酒屋などに売っていた。微生物の存在は、1673年レーウエンフックと言うオランダ人が発見したが、日本ではそれ以前から灰を使って微生物を純粋分離する技術があり、日本酒、焼酎、みりん、甘酒、醤油、味噌、米酢等を造っている。

鹿児島は更に海産物の発酵品や福山のツボ酢（黒酢）玄米に水を加えた物の上に振り麹を入れて蓋をするだけ。ツボに菌が付いているので壺は洗わない。大根を1ヶ月程干して、乾燥させ

た後に時々海水を掛けながらお餅をつくように杵で突き、すのこを敷いて底上げをした壺の中にぎっしりと敷き詰め、塩をたっぷりかける事で大根に残った水分が壺の底にたまる。半年で褐色の山川漬けが完成。鯉節をカビ桶に入れると鯉節の表面にカビが発生し、この時カビはかなりの水分を必要とし、鯉節の内部の水分を吸い上げてしまう。これを1番カビ、2番カビ、3番カビと繰り返すと、水分は完全に取除かれ、世界一硬い「鯉節」が完成。他にもさつま味噌、さつま醤油、いも焼酎、地酒（灰持酒）等があり、奄美においても、黒糖焼酎、みき、ソテツ味噌、きび酢などがある。きび酢は先日TVでも放映されていたが、体にこれ以上いいものは無いと絶賛していた。善玉菌は島の至る所にある。冷蔵庫のない時代の保存方法をもっと調べる必要がある。もっともっと聞きたい研修会でありました。

行政視察報告

経済建設副委員長

松田 太志

あれから7年。ようやくこの地に足を踏み入れることができました。

『東日本大震災』

津波により多くの尊い命が失われた災害は今も私の記憶に刻まれています。

徳之島から東北は宮城県へ、約1700kmの移動。

空港では大きな『七夕かざり』が私たちを迎えてくれました。仙台空港周辺は海

抜が低く、震災当時約3メートルもの浸水被害。空

港の壁には浸水した位置までの記録が記されています。

添乗員の方の話によると、当時高校生だった本人

は思い出や建物が津波に飲み込まれていく様子を今でも鮮明に覚えており、昨日の事のように話してくれました。

宮城県では朝の4時半に朝日が見えるとの事で早起きをし拝もうとしましたがあいにくの曇り天気。少し歩いてみようかと3キロ先のコンビニまで。

途中、三階建ての鉄骨の建物があり、当時役場職員の方々が避難を呼びかけた防災センターの建物であった事を知りました。コンビニ周辺には民家はなく、行政の方の説明では、震災後

の事のように話してくれました。

視察では南三陸町役場内にて、『災害に対応した新庁舎建設について』との内容で研修会がありました。

来ない条例を制定し商業施設であれば建てられるとの事でした。



庁舎は高台にありましたが、市町村合併時に互いの町の真ん中に造る約束があったため現在の場所に建てたとの事。タイムスケジュールや予算等についての説明も詳しくあり災害等を教訓に建てられています。



庁内では町民の方々が使いやすいように多目的ホールやカフェ、プラライバシーに配慮したスペースがありました。



今後、徳之島町は庁舎建設の計画があり、予算、タイムスケジュールをみながら計画をしていかなければなりません。集落の多くが



周囲には病院や体育館があり庁舎を中心として災害時の対応ができる様に町が造られています。



今後、徳之島町は庁舎建設の計画があり、予算、タイムスケジュールをみながら計画をしていかなければなりません。集落の多くが海抜の低い位置にあり、地震で津波が来たとき、どの様にして一人でも多くの命を守るのか。行政と議会が活発な意見を出し合えるように。

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

【徳之島町議会事務局】 ☎ 82-1111 (内線 331 番)

議会の動き

7月	1日	第31回トライアスロン IN徳之島大会
6日	第3回議会だより編集 委員会	
12日	常任委員長研修会	
17日	三力町議会議員連絡協 議会役員会	
23日	夏植推進出発式	
24日	奄美群島さとうきび価 格対策協議会総会	
26日	奄振予算要望活動	
30日	所管事務調査	
8月	2日	市町村政研修会
6日	公立高等学校生徒募集 定員策定地区説明会	
9日	奄美・徳之島航空路線 上り1便の利便性課題 解決に向けた要望活動	
10日	県知事との意見交換会	
12日	第37回どんどん祭り	
28日	議会広報研修会	
9月	6日	議会運営委員会 (第3回定例会)
15日	第45回「ゆめ・ときめき ねりんんスポーツ大会	
16日	町内各中学校体育大会 訪問	
21日	特別養護老人ホーム徳 寿園敬老会	
23日	町内各小学校体育大会 訪問	
10月	1日	第1回議会だより編集 委員会
11日	全国地域安全運動出発式	
20日	徳之島町町制施行60周 年記念式典・祝賀会	
22日	第2回議会だより編集 委員会	
22日	木材利用推進要望活動	
28日	東天城中学校創立60周 年記念式典	

議会活動スナップ



決算審査の様子

編集後記

島内各所に、甚大な被害をもたらした先の台風24号。物資輸送が止まり停電も長期間にわたり、食品品の確保や壊れた建物の補修資材の不足など、多くの町民方々が、大変な思いをされた事と思います。

また、大きな被害と共に、沢山の課題も残していきました。

台風常襲地域が故の『馴れ』がいか

に危険かを痛感。  
今後、起こりうるかもしれないスーパー台風や南海トラフ地震。そのような、想定外の災害を意識した住民の意識改革、行政側の対応改善、今後の災害対策への考え方を見直す時期に来ているかもしれません。

私たち広報編集委員は、8月に広報編集研修会に参加いたしました。ここで学んだことを今後の議会だよりに生かしていけるよう頑張つてまいります。

文責 植木 厚吉

